

令和3年度当初予算の概要

岐阜県 池田町



池田町マスコットキャラクター
ちやちやまる

1. 当初予算規模

当初予算額

	令和3年度	令和2年度
一般会計	88億23百万円	89億54百万円（対前年 1.5%減）
特別会計	39億 5百万円	45億16百万円（対前年 13.5%減）
計	127億28百万円	134億70百万円（対前年 5.5%減）

* 令和3年度当初予算の概要(計数編)12・13 ページ参照

一般会計当初予算額は、88 億 2,300 万円で、前年度と比べて1 億 3,100 万円(1.5%)の減額となります。

また、特別会計(上水道除く)を含む全会計当初予算総額は、127 億 2,800 万円で前年度比7 億 4,200 万円(5.5%)の減額となります。

減額となった要因としては、昨年度実施のデジタル同報無線戸別受信機(防災ラジオ)整備や池田中学校旧食堂・給食センター解体事業などの完了によるものです。また、当初予算に計上予定であった池田公園トイレ新設工事などを令和2年度1月専決補正予算に新型コロナウイルス感染症対策緊急支援事業として前倒し予算計上したことによるものです。

歳入については、町税ではコロナの影響で事業所得、給与所得の減により個人分の減少が見込まれ、昨年度に引き続き法人町民税の税率改正(9.7%→6.0%)により減少が見込まれます。固定資産税についても評価替えの年にあたり在来分家屋分の減に加え、コロナ対策による軽減措置の影響もあり大幅な減少を見込んでおります。町税全体としては6,953 万円の減額となっています。また、繰入金ではふるさと支援まちづくり基金繰入金で1 億 2,000 万円の減額となっています。一方、地方交付税では基準財政収入額の減により1 億円の増額となります。なお、寄附金のふるさと納税については、前年度と同額の4 億円を見込んでおります。

歳出については、庁舎受変電設備及び空調設備改修等工事設計委託料や土木事業測量調査設計委託料などの増加により委託料は7,791 万円の増額、職員数の増(184 人→190 人)により人件費は2,586 万円の増額となっています。その一方で、デジタル同報無線整備工事の完了などにより工事請負費は1 億 348 万円の減額、防災ラジオの購入により備品購入費は1 億 6,588 万円の減額、児童手当支給の減により扶助費は2,461 万円の減額、西濃環境整備組合の賦課金や子どものための教育・保育給付費などの減により負担金は1,617 万円の減額となっています。

2. 令和3年度の施策方針

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、地域経済は大きく低迷し、町内企業や飲食店などの経営状況は厳しさを増しています。また、町民の生活もウイルス感染への不安や日常活動の制限・抑制など精神的負担も増大しています。こうした状況に対し、令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を最重要施策と捉え、感染防止対策、地域経済の活性化を図るため、国県の政策や関係団体などとも連携しながら、ポストコロナに向け池田町新型コロナウイルス感染症対策緊急支援事業を進めます。

一方、本町においても人口減少、少子高齢化が深刻化しており、それに付随して町の機能低下が懸念されています。また、人口の減少は、町の活力を失うことにも繋がりがねません。そのため、今後は人口が減少しても、まちの機能を維持し、活力を損なわない、持続可能な地域社会を構築することが求められます。

令和3年度は、池田町第六次総合計画に位置付けた町の将来像「ぬくもりがあふれるまち 池田町 ～ふれあいが未来を育む、人と人がつながり合い成長する都市へ～」の実現に向け、厳しい財政状況の中、長期的な視点を持ちつつ、SDGsを取り入れながら喫緊の課題にも対応した公共交通網の整備や公共施設の老朽化対策など、町の活性化に資する事業を積極的に展開していく方針です。

こうした中、令和3年度の当初予算では、まず高齢者や障害者の方に対して生活の基盤である移動手段の確保のひとつとして「タクシー利用助成事業」を行い経済負担の軽減と社会参加促進を促します。

また、少子化対策として、新たに第3子目以降の保育料の無料化、生後6か月から中学3年生までを対象としたインフルエンザ予防接種費用の助成、産婦健診の受診補助など子育て世帯の支援・母子保健の推進を図り、多子出産できる環境づくりに取り組みます。

観光振興については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け非常に厳しいなか、ポストコロナに向けて道の駅池田温泉のリニューアル事業や霞間ヶ溪花畑の植栽整備をするほか、新型コロナウイルス感染症対応商工観光振興事業としてドライブシアターの開催や温泉ガストロノミーウォーキングなどを実施し、コロナ対策を図りながら関係人口（交流人口）の増加、地域産業の活性化を目指します。さらに池田町の四季や自然、観光地などの魅力を生かした観光プロモーションビデオ映像制作に取り組むとともに池田山山麓のリアルタイムの映像を配信するなど、観光情報の発信にも努めます。

教育・社会体育関係については、GIGAスクール構想の実現に向け新たに技術サポーターを委託し小中学生を対象にプログラミング教育を行い、論理的思考や創造性、問題解決力の育成を図ります。また、学校施設では、小中学校配膳室の空調設置、老朽化に伴う温知小学校外トイレの改修、体育施設では、霞間ヶ溪スポーツ公園芝生広場トイレの拡張、池田公園多目的広場トイレの新設、池田公園野球場ダグアウトの拡張工事など新型コロナウイルス感染防止対策も進めます。

3. 主な歳入歳出

歳入

名称	令和3年度	令和2年度	比較
町税	28 億 5,285 万円	29 億 2,238 万円	△6,953 万円
うち町県民税	12 億 1,772 万円	12 億 5,482 万円	△3,710 万円
うち固定資産税	14 億 6,089 万円	14 億 9,681 万円	△3,592 万円
地方消費税交付金	5 億 1,000 万円	5 億 200 万円	800 万円
地方交付税	18 億 600 万円	17 億 600 万円	1 億 円
国庫支出金	7 億 91 万円	7 億 548 万円	△457 万円
うち負担金	6 億 1,987 万円	6 億 4,430 万円	△244 万円
うち補助金	7,610 万円	5,574 万円	2,036 万円
寄附金	4 億 634 万円	4 億 604 万円	30 万円
うちふるさと支援まちづくり寄付金	4 億 円	4 億 円	0 円
繰入金	3 億 705 万円	4 億 2,000 万円	△1 億 1,129 万円
うちふるさと支援まちづくり基金繰入金	6,000 万円	1 億 8,000 万円	△1 億 2,000 万円
諸収入	2 億 9,685 万円	2 億 7,672 万円	2,013 万円
町債	7 億 1,290 万円	8 億 4,980 万円	△1 億 3,690 万円
合計	88 億 2,300 万円	89 億 5,400 万円	△1 億 3,100 万円

歳出

名称	令和3年度	令和2年度	比較
人件費(正職員のみ)	11 億 8,187 万円	11 億 5,601 万円	2,586 万円
扶助費	10 億 1,461 万円	10 億 3,922 万円	△2,461 万円
負担金補助及び交付金	23 億 5,985 万円	23 億 6,944 万円	△959 万円
うち負担金	19 億 1,217 万円	19 億 2,834 万円	△1,617 万円
うち補助金	3 億 6,285 万円	3 億 6,662 万円	△377 万円
委託料	10 億 399 万円	9 億 2,608 万円	7,791 万円
工事請負費	4 億 8,426 万円	5 億 8,774 万円	△1 億 348 万円
備品購入費	6,362 万円	2 億 2,950 万円	△1 億 6,588 万円
公債費	7 億 9,077 万円	7 億 5,114 万円	3,963 万円
積立金	2 億 1,121 万円	1 億 9,672 万円	1,449 万円
繰出金	7 億 8,477 万円	7 億 8,696 万円	△219 万円
合計	88 億 2,300 万円	89 億 5,400 万円	△1 億 3,100 万円

4. 主要事業

☆…新規 ◎…拡充 ○…継続

(1) 活力あるまちづくり 【493,441 千円】

◎防災メール活用事業 【2,178 千円】



防災情報を多くの住民に素早く伝達するため、戸別受信機(防災ラジオ)、メール、ライン、ホームページ等の複数配信メディアに対し、一斉に情報配信するシステムを整備します。

◎公共施設等管理事業 【32,258 千円】



平成 29 年度から令和8年度までの 10 年間を計画期間とした「池田町公共施設等総合管理計画」の中間年度による見直し、改訂を行います。また、公共施設等の長寿命化を目的に庁舎受変電設備及び空調設備改修等工事設計業務を行い適切な整備、更新を行います。

☆多子世帯保育料無料化事業 【7,860 千円】



子育て支援施策として、18 歳以下の児童のうちで第3子目以降の児童に対する保育料の無料化を実施。

☆子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業 【3,195 千円】



任意予防接種のうち、毎年接種を受ける必要があるインフルエンザについて新たに生後 6 か月から中学3年生を対象に接種にかかる費用を一部助成し、感染症予防を推進するとともに、経済的負担の軽減及び子育て支援体制の充実を図っていきます。

☆母子保健事業 【14,078 千円】



家族等から十分な育児等の支援が得られず、心身の不調や育児不安等を抱える出産後1年以内の母子を対象に助産師による訪問で心身のケアや育児サポート等を実施し、母子とその家族が健やかに生活できるよう支援を行う「産後ケア事業」を実施する。また、妊婦1人あたり 14 回分の妊婦健診受診票(補助券)に加え、産後2週間目と1か月後の出産後間もない時期の産婦を対象に産婦健診受診票(補助券)を2回分交付し、定期的な受診を勧める。

◎がん患者医療用ウィッグ購入費助成事業 【120 千円】



がん患者の医療用ウィッグに加え、新たに乳房補正具(乳房パッド・人工乳房)の購入費に対する助成制度を追加し、治療と就労、社会参加等との両立を支援し、療養生活の質の向上を図っていきます。

○すくすく赤ちゃん券助成事業 【3,110 千円】



子育て支援施策として、出生届時におむつ・ミルク等の購入代として「すくすく赤ちゃん券」を第1子目には2万円分、第2子目には3万円分、第3子目以降は、4万円分と、「おむつ用 ゴミ袋 30 枚」を交付し、子育て支援事業を行います。

○子育て就労応援事業【1,489 千円】



平成 30 年に開設した子育て就労応援センターで、大垣ハローワークと連携し、ハローワーク出張相談を行います。

また、育児や家事をしながら再就職を考えている母を応援するため、町内企業と連携し、講座やキャリアカウンセリングなどを企画し、出産後も安心して暮らすことができるまちづくりを目指します。

○危険空家等除却費補助事業【600 千円】



建物の基礎や外壁、屋根等が破損し、倒壊等の危険がある住宅及び倉庫等のうち、危険空家と認定された建物の除却に要した費用の一部について、1件あたり 30 万円を上限に助成します。

○ブロック塀等撤去費補助金交付事業【700 千円】



地震など災害によるブロック塀等の倒壊事故被害を防止し、安全なまちづくりを推進するため、道路に面したブロック塀等の撤去を行う場合に、1件当たり 10 万円を上限に補助金を交付し、ブロック塀等の撤去費用の一部を助成します。

○移住定住促進事業【2,448 千円】



町内への移住を推進するため、移住希望者を対象に町内を個別案内し、移住促進を図ります。

また、子育て世代の移住・定住を増やし、併せて町内にある空家の活用を図るため、空家を取得し、改修を行う費用の一部を助成するほか、固定資産税の免除を行うとともに東京圏からの移住・就業を後押しするため、地方創生推進交付金を活用した移住支援金の給付を行います。

○まちづくり工房事業【3,274 千円】



まちづくり拠点「まちづくり工房 霞溪舎」を中心とした町民参加のまちづくりを推進し、その施設を引き続き指定管理により運営を行います。

○町の人財を活かした地域コミュニティの活性化事業【684 千円】



池田町内のいろいろな技術、能力を持った達人を発掘し、その方々から学び、体験するプログラム・講座を開催することで学校・職場・自治会以外の人とつながる機会をつくり、多世代間交流が行えるようにします。

○ふるさと納税推進事業【400,000 千円】



池田町を応援していただくための啓発等を行い、特産品等の返礼を準備し、併せて町の PR を行って、ふるさと納税推進を図ります。

○工場等設置奨励事業【13,418 千円】



産業の振興と雇用の拡大を図るため、企業の立地促進を目的に奨励措置を設けます。

◎外国人文化交流事業【625 千円】



町内企業に勤めている外国人就労者のために日本語・日本文化・生活習慣の指導、就労者同士の交流の場の提供を行い、外国人との共生を目指します。

☆ねんりんピック岐阜2021開催事業【6,758 千円】



高齢者を中心とする国民の健康増進や生きがいづくり、活力ある長寿社会を目指す祭典として第 33 回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2021)が岐阜県全域で開催され、池田町ではスポーツウェルネス吹矢交流大会が開催されます。

◎音訳機器更新事業【646 千円】



視覚障害者の方に対し町広報の音訳 DVD を編集するパソコン等の音訳機器を更新します。

(2)観光関連事業【42,154 千円】

☆道の駅池田温泉リニューアル事業【19,965 千円】



町の特産物や観光情報等の発信拠点である道の駅池田温泉のリニューアル(模様替え)工事を行います。また、家族連れが楽しめるスペースやイベントを提供し交流人口の増加、地域振興を目指します。

◎霞間ヶ溪花畑整備事業【3,500 千円】



霞間ヶ溪花畑の植栽を整備し、観光客の増加を目指します。

☆新型コロナウイルス感染症対応商工観光振興事業【1,650 千円】



新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、ドライブシアターを新聞社と開催し、県内外から広く呼び込み、活性化を図ります。また、町内でも撮影された地方創生映画「ブルーヘブンを君に」、「母を亡くした時、僕は遺骨を食べたいと思った」を上映予定です。

☆温泉ガストロノミー推進事業【1,900 千円】



池田町の自然や歴史を感じながら「めぐって」、池田町の美味しいもの・お酒を「食べて(飲んで)」、そしてウォーキングの後には全国的にも珍しい純重曹のつるつる温泉に「つかって」を体験できる、満足度90%以上の滞在型・体験型イベントです。この ONSEN ガストロノミーイベントをきっかけに、地域観光資源の活性化のみならず、地域の交流と、新たな観光資源の発掘を行います。

☆観光 PR 動画作成事業【1,100 千円】



池田町の四季や自然、観光地、文化財などの魅力を最大限に伝えられるような観光 PR 動画を今年度から2ヶ年(総事業費:3,850 千円)かけて作成し、地域の活性化や観光客の増進、移住者の促進に繋がります。

☆霞間ヶ溪・大津谷公園リアルタイムカメラ設置事業【990 千円】



霞間ヶ溪公園や花畑及び大津谷公園により多くの誘客ができるよう、リアルタイムの映像をホームページ等で配信します。

○ふれあい街道周辺活性化事業【792 千円】



平成 27 年度から整備を行ってきた霞間ヶ溪公園花畑を中心に、花畑及び池田山のライトアップや星空体験、池田山の植物の講習会など池田山麓にある観光資源を有効に活用した体験イベント「池田山麓ナイトフェスタ」を行います。

そして、池田の魅力を多くの方に発信し、地域産業の活性化や地域間交流に繋がります。

○池田・揖斐川レンタサイクル推進協議会負担金【1,273 千円】



養老線の利用促進と広域観光推進のため、レンタサイクル事業を引き続き行います。

☆レンタサイクル活用推進事業【3,265 千円】



レンタサイクルの利用活動動向調査、分析を行い今後のレンタサイクル運営に活かす(委託料 2,100 千円)。また、地方創生ムービー「ブルーヘブンを君に」で撮影されたロケ地マップを作成(委託料 1,165 千円)し、レンタサイクルの利用に繋げる。

○町マスコットキャラクター「ちゃちゃまる」事業【665 千円】



池田町の活性化とPR活動の充実のため、誰からも親しまれ愛されるマスコットキャラクターになるよう努め、HPや各種イベントなどに活用します。

☆森林環境整備事業【7,054 千円】



森林環境譲与金を活用して、森林経営管理制度による意向調査、地図情報システムデータの更新、池田の森展望台の改修などを実施し、里山林整備業に取り組み、森林整備の推進を目指します。

(3)教育関連事業【298,794 千円】



☆小中学校配膳室・中学校相談室空調設置工事【12,597 千円】＜令和2年度繰越事業＞

新型コロナウイルス感染防止を目的として、空調機の設置による換気整備を行います。

☆温知小学校屋外トイレ改修事業【17,000 千円】＜令和2年度繰越事業＞



老朽化した、体育館屋外トイレの改修工事を行います。

◎GIGA スクール支援・プログラミング教育事業【4,970 千円】



GIGA スクール構想の実現に向け新たに技術サポーターを委託し、小中学生を対象に ICT 教育支援及びプログラミング教育を行います。

○小学6年生、中学3年生に対する学校給食費の無償化【25,933千円】



学校給食費の無償化を今年度は中学3年生も対象とし、来年度の進学に備え、子育て世代の経済的負担を軽減します。

○小学校入学お祝い金及び中学生夢交付金事業【4,470千円】



新入学児童に入学お祝い金交付支援事業として、1万円支給します。(2,060千円)またキャリア教育の一環として中学3年生に、夢交付金事業として図書券1万円分を支給し、子育てを支援します。(2,410千円)

○池田町大野町学校給食センター協議会運営費【98,332千円】



池田町大野町学校給食センター協議会へ負担金を支出し、池田町及び大野町内で給食事業を行います。

○特別支援教育支援事業【27,393千円】



学習や学校生活において特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学級に対して、指導助手として、特別支援学級に支援員、通常学級にアシスタントを町独自で配置し、誰もが安心して学べる環境を整えます。

支援員 配置校:温知小2人、八幡小2人、池田小2人、池田中2人

アシスタント 配置校:温知小6人、八幡小3人、宮地小3人、池田小3人

○外国語活動推進事業【6,642千円】



ALT (Assistant Language Teacher) のほか、町独自に講師を4人配置し、小中学校における英語授業の充実を図ります。

○少人数学級指導支援事業【7,800千円】



一定数以上(30人以上)の学級を対象に、町単独で講師を配置し、学習集団を1学級増やして、よりきめ細やかな少人数指導を行います。

対象校:温知小3人、八幡小3人

○池田町版体験キャリア教育事業【3,790千円】



キャリア教育コーディネーター2名が、池田町の教育について現場教師とともに新たな職場体験のあり方やキャリア教育プログラムについて考え、子ども達が地元でいきいきと働く大人に触れる仕組みを作り、地元を知る喜びや町への愛着を育むことを目指します。

また未来の池田町を担う中学生と池田高校生に対して英検や漢検等の資格取得に対して助成を行うことで、社会で活躍する土台形成を図ります。

☆霞間ヶ溪スポーツ公園芝生広場トイレ改修事業



【7,892千円】<令和2年度繰越事業>

新型コロナウイルス感染防止を目的として、霞間ヶ溪スポーツ公園芝生広場トイレの拡張工事を行います。



☆池田公園多目的広場トイレ新設事業 【66,497 千円】＜令和2年度繰越事業＞

新型コロナウイルス感染防止を目的として、池田公園多目的広場トイレの新設工事を行います。



☆池田公園野球場ダグアウト改修事業 【15,458 千円】＜令和2年度繰越事業＞

新型コロナウイルス感染防止を目的として、池田公園野球場のダグアウトの拡張工事を行います。

(4)生活基盤関連事業 【630,435 千円】



○移動手段確保対策事業【1,000 千円】

65 才以上の方を対象に養老線マイレールチケット 21(回数券)を販売定価の 1 割助成します。

なお、妊娠中の方にはマイレールチケット 21(回数券)を1回無料配布します。また自動車運転免許返納者へは、2 年間で 4 回まで無料配布します。



○養老線管理機構関連事業【113,242 千円】

一般社団法人養老線管理機構へ負担金(90,543 千円)、補助金(20,931 千円)を支払い養老線を支援します。



○コミュニティバスの継続運行【12,571 千円】

コミュニティバスの継続運行を行い、町内の安全な移動手段を基本とし利用者の増加と利便性の向上を図るため、マイクロバス1台、ワゴン車2台で4路線、31便／日を運行。

(令和2年度利用者数は、9,554 人)(1月末日現在)



☆タクシー利用助成事業【7,922 千円】

運転免許証を所有していない高齢者や障害者に対して経済負担の軽減と社会参加促進を促すため、タクシー利用の助成を行う。(1乗車につき 500 円の助成、18,000 円／1年間)



○単身の高齢者、障害者世帯に対するごみ出し支援事業 【307 千円】

自ら家庭ごみをごみステーションに出すことが困難な、単身の要介護者や障害者などに対して事業者の戸別訪問によるごみ収集、または地域の協力者によるごみ出しに対する支援を行います。



○緊急通報装置設置事業 【1,109 千円】

75歳以上の独居高齢者等の急務、事故等の緊急事態に対応するため緊急通報装置を設置します。

○福祉医療扶助事業 【241,811千円】



子どもの医療費を無料化にすることで、子どもを持つ世帯は平等に医者にかかることができ、子どもの病気の重篤化を防ぐことができます。

	対象(人)	予算額(千円)
乳幼児扶助	954	39,232
児童・生徒扶助	2,028	63,109
高校生等扶助	731	22,748

○病児・病後児保育事業 【7,113 千円】



子どもが病気にも関わらず、仕事や冠婚葬祭等により家庭で看護ができない保護者に代わり、一時的に「病児・病後児保育施設 ひまわり」において児童を預かります。(登録者605人)

なお、3人以上子どもがいる世帯の利用は無料としています。 対象人員120人

○放課後児童クラブ事業 【35,810 千円】



仕事などの事情により、昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や夏休み等の長期休暇中、保護者に代わり、適切な遊びや生活の場を小学校毎に開設します。(利用予定者数:223 人、対象児童は小学校 6 年生まで)

☆地区公民館受電設備更新事業 【16,840 千円】



経年劣化した中央公民館と養基公民館の受電設備を更新し、施設の長寿命化を図ります。

○社会基盤施設管理事業 【26,700 千円】



公共施設等適正管理推進事業

対象となる道路の長寿命化を推進します。

池野市街地線排水路防音対策 青柳・池野地内

○社会資本整備総合交付金事業 地域基盤整備工事 【19,000 千円】



測量設計委託 2路線

藤代・八幡 9,000 千円

上八幡 10,000 千円

○道路改良工事 【26,000 千円】



町道アスファルト舗装工事

下八幡7号線 2,600 千円

北部地区 6,000 千円

道路改良工事

杉野 14 号線 11,100 千円

舟子1号線 6,300 千円

○里山林整備事業【13,420 千円】



野生鳥獣による被害の軽減など、地域住民の生活環境の保全や生物多様性の保全を図るため、霞間ヶ溪登山道既存施設の改修、ふれあい街道沿いの倒木の危険性の高い高木の伐採、鳥獣被害対策を行います。

☆農作物野生獣被害防止対策事業【2,453 千円】



山林のふもと付近に住みついたシカやイノシシなどが、農作物に被害を与え農家の経営に影響を及ぼしていることから、除草などによって野生獣の「すみか」を解消し、農作物被害の抑制を図ります。

☆茶畑景観維持事業【500 千円】



池田山麓の荒廃茶園の管理を行い景観維持に努めます。

☆斎苑解体事業【96,632 千円】



池田町斎苑を解体し、用地を維持管理していきます。

◎個人番号カード交付推進事業【4,047 千円】



住民の利便性の向上と行政の効率化を図るためマイナンバーカードの普及促進を行う。